

参加者1)

まず、いろいろとご準備頂いたみなさんに感謝したいと思います。どうもありがとうございました！会社とは違う視点や考え方で議論が出来たので気晴らし？、気分転換になり、参加してよかったです。

今回は、参加者有志の方からの各自の視点での発表の後、大半の時間を「未来塾の未来」をキーワードに議論を進めました。

前段では、福井さん、松嶋さん、船渡さん、中谷さん、出川先生、阿部先生が発表されました。「シニア」「マスコミとIT」「2052年」「楽観的に考える」「日本の技術の源流」「スマートエイジング」と、非常に幅広い内容をそれぞれの視点で説明されていてとても参考になることが多かったです。

例えば、中谷さんの「楽観的に考える」ことは課題をきっちり直視しない「楽天的」とは異なり、課題をしっかり受け止めて解決できると考える前向きな生き方につながるという話、松嶋さんのマスコミ特に新聞（新聞記者）の価値、さらには、船渡さんのコミュニケーション能力を上げるための「哲学対話@大山高校」の話などはとても興味深い内容でした。また、福井さんのご自身の会社生活と未来塾との関係、出川先生の日本の地勢と技術の関係や阿部先生の「MOTは次世代のために社会をもっと元気にするための”まことの花”を咲かせる活動」といった説明もとても興味深い内容でした。これらのことを「識る」ことができるのも合宿ならではののではないかと思います。

今回最も時間を割いたのは「未来塾の未来」についての議論でした。初参加の富士フィルムの中村さんが幾つかの視点でまとめてくださっていた内容をベースに議論をはじめました。更に広報機能としてのHP更新について折田さんからの説明、新たな取り組みについての堀池さんからの説明、阿部先生からの未来塾の活動の位置づけの説明などを聴きつつ、以下のような議論を行うことができました。

- ・未来塾に参加している理由、未来塾の価値
 - ・未来塾のブランド化
 - ・未来塾を示すキャッチーなワード（うたい文句）
- など

未来塾に「なぜ参加するのか」という問いに対して、各々から「いろいろな視点から未来塾の良さを感じている具体的な理由」を聴くことができ、その中からいくつかの気づきを得ることができました。

未来塾が存続してきた理由の一つは、会社を離れて個人でリアルな場で顔を合わせて適切な議論をしているからより新しい視座・視点からの気づきが得られること、さらには見識が高められることなどではないかと思いました。

もちろん、リアルな場で無いところでも良さを感じてくださっている方はいらっしゃいます。今後、どのようにして未来塾のみなさんを社の良さを広めていけばいいのか、その良さをブランド化して新しいフェーズの活動ができればと思います。そのブランド化のための、うたい文句をみなさんで議論したところ、「失敗できる場」「知的思考のトライアルが出来る」、「信用がある」などの50個くらいのキーワードが出てきました。

今後、HPの更新と併せて未来塾の活動を発信していくための「武器」になると思います。

いずれにしても、通常とは異なる場所での議論はとても心地のいいものでいいリフレッシュになりました。また、来年も楽しみにしたいと思います。

参加者2)

1泊2日で集中的にプレゼンやメンバー討議を行い、非日常を満喫できました。プレゼンは有志メンバーで実施し、それぞれが、それぞれの視点で行うプレゼンは自分とは違う考えに触れることができ、新しく考えるネタを沢山もらえました。

テーマ：

- ・定年後の介護、仕事、未来塾のバランスの取り方
- ・実は社会的に深刻なマスコミの将来、
- ・楽天的じゃなく楽観的に考える意義
- ・日本の地勢風土に根差した技術の源流提案
- ・より良くより充実した一生を生きるためのスマートエイジングの提案と常に課題を持つことの大切さ

その後は「未来塾の未来」についてほとんどの時間を使い、提案や議論を行いました。最初はバラバラな意見の出し合いから始まったものの、夕食後、翌朝になるにつれて何のための未来塾なのか、それぞれがどうかかわっていけばいいのか、等の深い議論まで行うことができ、改めて自分にとっての未来塾の位置づけを再考する場になりました。

自分にとっての未来塾は、技術者としての多面的な意見交換と自己研鑽の場であって、他のメンバーもそれぞれの活動を通じて自己研鑽しているので、どの時点でも新しい気付きや考え方のヒントが得られます。これは、顔の知った技術者と何年も付き合うことでしか得られない貴重な場だと思います。

マンネリ化することが欠点ですが、今年は新しい参加者からの積極的な発言、提案もあり、活性化されたと思いました。

参加者3)

テクノ未来塾の合宿に初めて参加させて頂きましたが、参加して良かったです。みなさん、ありがとうございました。

今までよく分からずにこの会に参加していました(ということが分かりました)が、改めてこの会の面白いところに気がつきました。それは、チーム議論のアウトプットとして発表した事と同じですが「この会の良いところ、存在意義は、各メンバーが、自分が所属する組織や、自分が属する専門領域以外の多様な人たちと、普段議論しないような多様なテーマで、リアルな場でのFace-To-Faceの、纏めたり、結論を出すのではなく発散した議論ができ、それぞれが多く気づきを得られる所だ！」と実感できたところです。

この合宿にあたって、多くの提案(あるいは議論のたたき台を提示)をさせて頂きましたが、昨日の議論を受け、自分として取り組んでみたい事を改めて宣言したいと思います。

「発酵サークル」に関しては多くの賛同が得られましたので、早々に立ち上げたいと思います。

参加者4)

今回は「未来塾の未来」については尻上がりに議論が深まっていったと感じています。個人それぞれが何のためにこの塾に参加し、なぜ継続できているのかを考えたとき継続しているのは、それだけの価値を感じているからです。その価値を広められていない自分に問題であることが浮き彫りになったように思います。

明るい未来を創り出すには楽観的に考えることが重要。

いくら悲観的な危機を煽り立てても何にもならない、という事で発想の転換をしました。

愉快なことを理解できない人間に、

世の中の深刻な事柄がわかるはずがない。 (ウィンストン・チャーチル)

準備に携わっていただいたメンバーに深く感謝いたします。

参加者5)

未来塾の通常のフォーラムでは講師の講演に基づいて議論が行われますが、熱海合宿は参加者が議論したいテーマを持ち寄り、短くショートプレゼンを行った後で、全員でテーマを決めて互いに意見を出し合うことで様々な気づきが得られる貴重な場ではないかと思えます。